

R7.10.16 開催

「総合計画第2期実行計画（令和3年度～令和6年度）

進捗状況報告書」について

予算決算常任委員会全体会

それでは、総合計画第2期実行計画進捗状況報告書に基づいて報告します。

まず、報告書の3ページをお願いします。

大津市総合計画は、平成29年度から令和10年度までの12年間を期間とする基本構想と、基本構想に掲げる将来都市像の実現のための各施策を定めた4年毎の実行計画で構成しています。

第2期実行計画の計画期間は、令和3年度から令和6年度までの4年間であり、3ページ及び4ページでは、その施策体系を記載しています。

計画の進捗管理として、毎年度、各施策の指標の実績と主な取組事業の実施状況から各施策の進捗を評価し、各部局における今後の方向性の確認と次年度に向けた取組のブラッシュアップにつなげています。

5ページをお願いします。

令和6年度の各施策の進捗状況についてです。

第2期実行計画では、35の施策について、75の指標を設定しています。

表2は、それらの指標について、令和6年度の目標値に対する実績値と目標値に対する達成率を記載しています。

表1は、目標値の達成率ごとに該当する指標の数を整理した表です。

全体の77%にあたる58指標について、目標値に対する達成

率が75%以上であり、令和6年度の指標の全体の達成状況としては、概ね順調と評価しました。

また、目標値に対する達成率が60%未満であった8指標は、社会情勢の変化による影響を受けたものや、外的な要因に左右されやすい指標を設定していたことによるもの、事業の手法等を見直したことによる影響を受けたものです。

10ページをお願いします。

10ページから19ページまでは、第2期実行計画の計画期間である令和3年度から令和6年度までの4年間の各施策の進捗状況についてです。

11ページの表4は、10ページに記載しております基準に基づき評価した施策ごとの結果を記載しております。

表3は、評価区分ごとに該当する施策の数を整理した表です。

全体の86%に当たる30の施策が「順調」又は「概ね順調」という結果となったことから、第2期実行計画の4年間の進捗結果としては、概ね順調に進捗したものと評価しました。

「やや不調」、「不調」となった施策の多くは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、5類移行後もコロナ禍前の状態まで回復に至らなかったものであり、このほかには、コロナ禍を経て社会情勢が変化したことによる影響を受けたものや、外的な要因に左右されやすい指標を設定していた施策となっております。

20ページ及び21ページは、「大津市総合計画等策定懇談会」の座長を務めていただいている龍谷大学名誉教授西垣氏による「大津市総合計画第2期実行計画進捗状況報告書に係る意見書」となります。

意見書には、「大津市総合計画第2期実行計画」の進捗状況は、いくつかの指標において低くとどまるものもあったが、計画期間

の前半が新型コロナウイルス感染症の蔓延下にあったこと、各施策の年次ごとの達成度が向上しているものがあることなど、総合的に判断すればその趣旨に即しておおむね良好な進捗状況を達成しているものと判断でき、この点は、懇談会においても大方の同意が得られたことが記載されています。

22ページから56ページまでは、35の施策ごとに、指標の実績値をグラフ形式で記載するとともに、令和6年度の主な取組事業及び指標の実績についての評価並びに第2期実行計画の総括について記載しております。

57ページをお願いします。

施策の推進に当たっては、部局横断的に取り組んでいるものですが、各施策の進捗状況を取りまとめる主管課を記載しています。

58ページをお願いします。

58ページ以降は、令和6年度の各施策の主な取組における主要事業の一覧を資料として記載しております。

リーディングプロジェクトに関連する事業については、事務事業名称の前に関連するプロジェクト名を記載していますので、ご参照いただきますようお願いいたします。

以上、説明といたします。